

登録コード	J6941100	開講年度	2026				
授業科目	経済・企業法務特別講義*（現代史基礎）					担当教員	丸橋 昌太郎
英文授業名	Contemporary History					副担当	岡野 匡将
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	(23カリ対象科目) 法：2年
講義室	経法第2講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」			⇔	【授業の達成目標】	
		経法23初（2026改）・総合法律，経法23初・総合法律					
		法学の専門領域の基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。			⇔	リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決する力として，日本の現代史の基礎を修得し，現代の日本社会が抱える課題について説明することができるようになる。	
		環境問題や，企業や行政の組織内において，日々生起する諸問題について，理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち，総合的に解決していくことのできる能力を身につける。			⇔	経済学分野の思考方法として，日本の現代史の基礎を修得し，現代の日本社会が抱える課題を総合的に解決していくことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」		その他					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		東日本大震災や能登半島地震からどのように日本を復興していくかを考える上で、戦後、日本が再生してきた過程を知することは、極めて有意義です。そこで、本講義は、敗戦から現在の高市政権までの日本の現代史を理解することを目的とします。講義計画に示したトピックに従って、敗戦から現在の高市政権までを取り扱います。					
(5)授業計画		1 トランプのアメリカと日本の立場 2 日本の第二の敗戦ー東日本大震災 3 日本・廃墟からの再生 4 自衛隊の誕生 5 「55年体制」の発足 6 安保条約とは何だったのか 7 日韓条約が結ばれた 8 高度経済成長が始まった 9 「公害」が生まれた 10 沖縄は返ってきたが 11 田中角栄と日本列島改造 12 バブルにGO！ 13 長期デフレとリーマンショック 14 「ガラスの天井」は破られたのか 15 授業アンケート 期末試験					
(6)成績評価の方法		原則として、期末試験（論述試験）により、評価します。					
(7)成績評価の基準		授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容		授業内で適宜指示する。					
(9)履修上の注意		日々の国際情勢に関心を持ち、新聞を読むこと。楽勝科目ではないので、それなりの覚悟を持って履修登録すること。					
(10)質問,相談への対応		授業中に積極的に受け付ける。素朴な質問でも歓迎する。					
【教科書】		使用しません。					
【参考書】		適宜、指示します。					